

貸借対照表

(単位 千円)

| 科 目 | 平成26年度(当期) (平成27年3月31日現在) | 平成25年度(ご参考) (平成26年3月31日現在) | 科 目 | 平成26年度(当期) (平成27年3月31日現在) | 平成25年度(ご参考) (平成26年3月31日現在) |
|-----------------|------------------------------|-------------------------------|--------------------------|------------------------------|-------------------------------|
| (資産の部) | | | (負債の部) | | |
| 流動資産 | 503,293 | 463,970 | 流動負債 | 157,716 | 142,383 |
| 現 金 及 び 預 金 | 34,238 | 30,328 | 買 掛 金 | 26,513 | 21,263 |
| 売 掛 金 | 24,037 | 23,956 | 未 払 法 人 税 等 | 23,735 | 9,197 |
| 未 収 入 金 | 29,035 | 13,026 | 未 払 金 | 25,300 | 15,642 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 23,000 | 24,500 | 未 払 費 用 | 80,628 | 86,845 |
| 親 会 社 預 け 金 | 392,887 | 372,088 | 預 り 金 等 | 1,540 | 9,437 |
| その他の流動資産 | 97 | 73 | | | |
| 貸 倒 引 当 金 | 0 | 0 | | | |
| 固定資産 | 208,318 | 241,904 | 固定負債 | 395,692 | 418,683 |
| 有形固定資産 | 11,811 | 12,775 | 退職給付引当金 | 369,903 | 400,754 |
| 建 物 | 9,132 | 10,066 | 役員退職慰労引当金 | 25,789 | 17,929 |
| 工 具 器 具 備 品 | 2,679 | 2,710 | 負 債 合 計 | 553,408 | 561,066 |
| 無形固定資産 | 6,132 | 9,012 | | | |
| ソ フ ト ウ ェ ア | 6,111 | 8,991 | (純資産の部) | | |
| 施 設 利 用 権 | 21 | 21 | 株 主 資 本 | 158,204 | 144,807 |
| 投資その他の資産 | 190,376 | 220,117 | 資 本 金 | 50,000 | 50,000 |
| 差 入・敷 金 保 証 金 | 48,746 | 61,387 | 利 益 剰 余 金 | 108,204 | 94,807 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 141,000 | 158,100 | 利 益 準 備 金 | 12,500 | 12,500 |
| そ の 他 の 投 資 | 630 | 630 | そ の 他 利 益 剰 余 金 | 95,704 | 82,307 |
| 資 产 合 计 | 711,612 | 705,874 | 別 途 積 立 金 | 0 | 0 |
| | | | 繰 越 利 益 剰 余 金 | 95,704 | 82,307 |
| | | | 純 資 产 合 计 | 158,204 | 144,807 |
| | | | 負 債 及 び 純 資 产 合 计 | 711,612 | 705,874 |

個別注記表

1. 記載金額は、千円未満を四捨五入表示しております。
2. 重要な会計方針に関する注記
 - (1) 商品の評価方法及び評価基準は、移動平均法による原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)によっています。
 - (2) 有形固定資産及び無形固定資産の減価償却の方法は定額法によっております。
 - (3) 退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき計上しております。
役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支出に備えるため、当社内規に基づき計上しています。
 - (4) リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。
 - (5) 消費税等の会計処理は、税抜方法によっております。
 - (6) 重要な会計方針の変更
「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準第26号。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準委員会 平成24年5月17日 企業会計基準適用指針第25号)が平成25年4月1日以後開始する事業年度の期首から適用できることになったことに伴い、当事業年度よりこれらの会計基準等を適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の算定方法を変更しました。
退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な扱いに従って当事業年度の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を繰越利益剰余金に加減しております。
3. 株主資本等変動計算書に関する注記
 - (1) 発行済株式の種類及び総数に関する事項

| 株式の種類 | 前期末株式数 | 当期増加数 | 当期減少数 | 当期末株式数 |
|-------|--------|-------|-------|--------|
| 普通株式 | 1,000株 | — | — | 1,000株 |
 - (2) 配当に関する事項
 - ① 配当金支払額

| 決議 | 配当金の総額 | 1株当たり配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|----------|----------|----------------|----------------|
| 平成26年6月17日 定時株主総会 | 12,000千円 | 12千円 | 平成26年 3月31日 | 平成26年 6月18日 |

(注) 1株当たり配当額 12千円の内訳は、普通配当 12千円であります。
 - ② 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当事業年度後となるもの

| 決議 | 配当の原資 | 配当金の総額 | 1株当たり配当額 | 基準日 | 効力発生日 |
|----------------------|-------|---------|----------|----------------|----------------|
| 平成27年6月23日 定時株主総会 | 利益剰余金 | 8,000千円 | 8千円 | 平成27年 3月31日 | 平成27年 6月24日 |

(注) 1株当たり配当額 8千円の内訳は、普通配当 8千円であります。

4. その他注記

該当ありません。

以上